

2025 年度 公益社団法人乙訓青年会議所 理事長所信

第 46 代理事長 松宮 一貴

はじめに

乙訓青年会議所は 1979 年に志高き 14 名の青年によって全国で 659 番目の青年会議所として誕生いたしました。地域が必要とする運動を展開してこられた先輩諸兄姉の功績は我々の誇りとなり、組織に脈々と受け継がれ、持続的な運動が展開できています。

我々が活動する向日市・長岡京市・大山崎町は京都市の西部に位置し、自然環境や歴史文化にも優れ、交通の利便性が高く京都・大阪都市圏のベッドタウンとして人口も緩やかに増加し発展を遂げてきました。しかし、仕事や生活の中心は都市圏にあり、地域内での活動や交流が少なくなることで、地域コミュニティが希薄化し、地域への関心が低下するおそれがあります。また、地域諸団体・行政は持続的に地域資源の有効活用や発信などを行っています。顕著な効果があるとはいいい切れず、観光産業の活性化へと寄与できていない課題があり、地域経済の成長につなげきれいていません。地域の発展につながる地域経済の成長には、地域諸団体・行政との連携から得られる専門性、スピード感、実効性が重要であり、地域の特産品や観光資源の魅力を高めると共に市民の地域愛を育む必要があります。その中で、本年度は従来行っている組織の活動に加え、近畿地区 2 府 4 県を活動地域としている各地青年会議所が一堂に会する近畿地区大会が乙訓の地で開催され、主管を務めさせていただきます。本大会は、乙訓地域と乙訓青年会議所の発展につながり、地域の魅力を近畿地区全域に発信できる機会でもあります。そして昨年度、新たに策定した中期ビジョンである、未来 Vision～5 ヶ年活動計画～「全ての人々が幸せを実感し、優しさで溢れた乙訓の実現」の 1 年目となります。今こそ組織一丸となり、この近畿地区大会の主管を務める機会を活用し、新たな中期ビジョンを基盤として地域の課題解決に取り組み、さらに愛される乙訓地域へと発展させてまいりましょう。

大志を抱け～想いを実現し組織に価値を、乙訓地域に影響を～

「明るい豊かな社会」の実現に向け、運動を展開する中で重要視したい 2 つのことがあります。まずは、運動に対する強い想いを抱くこと。そして、想いを形にするために与えられた役割に責任感をもって果敢に挑戦すること。この強い想いと、果敢な挑戦が、描いた理想を現実にする大きな力となります。しかし、根幹となる強い想いがなければ挑戦にも至らず、理想を現実にすることも未来につなぐこともできません。例えば、「地域からもっと必要とされる組織になりたい」、「地域に影響力のある事業を創りたい」、「仲間と共に地域をより良くしたい」など強い想いを抱くことは、地域への情熱や事業構築、仲間を思いやる行動にもつながります。全ては強い想いを抱くことから始まります。戦後、先輩諸兄姉は「新日本の再建は、我々青年の仕事である。」と強い想いを抱き、祖国再建への使命感と会員としての役割に責任感を持ち、果敢に挑戦を続けてこられたからこそ、多くの困難を乗り越え、現在の日本につながっています。その想いが地域に広がり、地域経済や社会の発展にも寄与し、現在の乙訓地域にもつながっています。だからこそ、我々も先輩諸兄姉同様に「明るい豊かな社会」の実現に向け、まずは地域を想い、そして地域をより良くしたい、組織をより良くしたいと強い想いを抱き、その想いを日々の行動に反映させることが地域の発展へとつながっていきます。本年度、我々は「大志を抱け！」をスローガンに掲げ「～想いを実現し組織に価値を、地域に影響を～」をテーマに運動を展開してまいります。我々が大きな志をもって地域の課題に果敢に挑戦し「全ての人々が幸せを実感し、優しさで溢れた乙訓の実現」を理想から現実のものに変えていきましょう。

同志と連携し乙訓地域の価値を高めよう

我々が活動する乙訓地域では市民主導のまちづくり運動が多く行われており、乙訓青年会議所でも地域の発展に向け地域資源の活用や発信を行ってきました。しかし、乙訓地域独自のまちづくりを行っていることで、新たな地域資源の活用方法や、質の高いまちづく

り運動への知見が広げられていない現状があります。また、地域資源の活用や地域の魅力を発信しきれないことから、行った運動は一過性にとどまり、地域社会の発展につながれていない現状があります。従来行ってきた運動の質を向上させ、パートナーとの関係をより強固にすると共に、近畿地区大会主管青年会議所の機会を活かし、地域の垣根を超えた新たなまちづくり運動を行います。また、行った運動を新たなまちづくりの指標とすることで、乙訓地域に好循環を生み出し、地域社会の持続的な発展へとつなげる必要があります。

まずは、近畿地区大会・乙訓大会の開催にあたり近畿地区協議会と連携し、準備を行い、進捗を共有することで主管青年会議所としての責任感を高めます。そして、京都府内各地青年会議所との協力関係を結びます。さらに、近畿地区大会・乙訓大会に向けて仲間がより一層一丸となる機会を創出します。

我々にはやり遂げる覚悟と創意工夫の精神があります。この機会に責任をもって向き合い、参加される皆様の信頼と期待に応えて、乙訓地域の魅力を存分に活かした近畿地区大会を創り出し、地域の発展に貢献できる近畿地区大会・乙訓大会を目指していきましょう。新たな挑戦に踏み出すことが、未来をより良くするための確実な一歩となります。挑戦し、魅力を創出することで持続可能なまちづくりへとつなげましょう。

乙訓地域の魅力を共創し地域愛を高めよう

向日市、長岡京市、大山崎町は、豊かな自然環境と歴史的文化的価値を有し、住みよいエリアであります。人口は増加傾向にありますが、交通の利便性から仕事や余暇などの時間を乙訓地域以外で過ごす人が多く、まさしくベッドタウンとして発展することで、乙訓地域に関わる機会が少なくなっています。また、インターネットの普及によりコミュニティが希薄化したことで、乙訓地域の発展につながる活動などの参加意識が低下し、その結果、乙訓地域の情報を知る機会も減り、自分たちが住んでいる乙訓地域に対する興味や誇りを感じにくくなり、地域愛の低下につながっています。地域愛の低下は、自分たちが乙訓地

域の一員であるという共同体意識を失い、乙訓地域の衰退につながりかねません。地域愛を高めるためには、乙訓地域に根差した活動を持続的に行い、乙訓地域の魅力や価値を再認識することにつなげていかなければなりません。そして、その過程で、住民一人ひとりが地域の魅力づくりに参加することで、地域に対する誇りや愛着を育むきっかけになります。

まずは、行政関係の皆様や同志に我々の 1 年間の方向性を理解して頂き、協働へとつなげる機会を創出いたします。そして、行政関係や地域諸団体の皆様と 1 年間を通して、新たな協力関係の構築とさらなる信頼関係を築きます。さらに、乙訓地域の発展に向け行政・地域諸団体と連携した運動が重要であることを、認識する機会につなげます。そして、乙訓地域の様々な資源を掛け合わせる場を創出し、地域愛を大きく波及させる機会につなげます。

地域愛が溢れる乙訓地域を実現するには、地域住民やパートナーと共に新たな挑戦を続けていく必要があります。これまでの取り組みを基盤にしながら、未来を見据えて乙訓地域の魅力をさらに高め、乙訓地域の発展をリードしてまいりましょう。

役割を果たせる未来のリーダーを育成しよう

近年、個人主義の広がりによりコミュニティの輪を広げるよりも、個人の権利や自由が重視されるようになり、共同体や社会のために行動するという意識が薄れ、社会的役割に対する責任感が相対的に低下しています。また、インターネットや SNS の普及によって人間関係が表面的になり匿名性のもとで無責任な行動が増加しています。さらに、多くの情報により価値観が多様化し、何が正しいかの基準が曖昧となり、自分の行動が社会に与える影響への意識が薄れ、社会的役割に対する責任感が低下しています。その責任感の低下は、地域社会やコミュニティにおける協力や助け合いを減少させ、社会的なつながりの希薄化、人々の孤独感の増加など多くの社会問題を発生させます。さらに、地域社会のために積極的に学び行動する意識や意欲を削ぎ、乙訓地域全体の活力に悪影響を与える可能性

があります。地域社会やコミュニティの中で、協力や助け合いを促進し、活力を高めるために必要な役割を果たす責任感を意識することは、自分の行動が他者や社会に与える影響を常に意識できるようになります。そのために、多角的な視点から役割を果たす責任感を向上させることで利他的な行動を促進し、役割を果たせる未来のリーダーを育成していかなければなりません。

まずは、近隣の青年会議所との交流を通じて社会的なつながりを再認識します。そして、未来を担う子供たちに、今後の人生において社会的なつながりや役割を果たす責任感が大切であることを理解してもらいます。さらに、乙訓青年会議所の創立を祝う場にて、先輩諸兄姉と共に歴史を振り返り、組織が地域社会を牽引していくという社会的な役割の重要性を再認識します。また、会員の役割を果たす責任感を理解し、人のため・まちのために行動できる組織の発展へとつなげる機会とします。そして、卒業を迎える仲間へ感謝と敬意を表し、卒業生の想いを次年度へと引き継ぎます。さらに、1年間の労をねぎらうことで次年度への活動意欲を高め、その想いを次代へと引き継ぎます。また、1年間を通して仲間と親睦を深め、組織が強固になる場を提供します。

我々は乙訓地域のリーダーとして役割を理解し、役割を果たせる人財でなければなりません。自らが率先して地域や人のために行動することで、周囲に良い影響を与え、乙訓地域をより良い方向へと導くことができます。「役割を果たす責任感」を改めて意識し、地域の未来を切り拓くリーダーを育てていきましょう。

組織の魅力を発信し影響力を高めよう

ソーシャルメディアやインターネットの普及による膨大な情報社会において、様々な情報は埋もれターゲットに届かないことで、組織のブランディングを行うことが困難な状況にあります。我々も組織が行う運動を持続的に発信しているものの、情報は埋もれ認知度向上に至らず、ひいては信用性を高め切れないことで地域に対し確かな影響力を波及できていない課題があります。また、乙訓青年会議所では5年前に卒業者数が多く、会員数は

大幅に減少しましたが、そこから少しずつ増員の兆しを見せています。しかし、以前のよ
うな会員数には戻っていないのが現状です。会員数の低迷は、組織の事業規模を縮小させ
ることにつながり、乙訓地域への影響力が低下します。さらには、活動規模の縮小が会員
の学びや成長の機会を減少させ、組織の価値を感じられなくなります。個人の力だけでは
大きなムーブメントを起こすことは難しく、会員の拡大こそが運動の基盤であると認識し、
魅力を広く認知してもらい会員の拡大につなげ、影響力のある組織を作ることが重要とな
ります。そのために、従来のソーシャルメディアや SNS を活用した広報手段に加え、多角
的な視点から新たな手法を取り入れ、組織の魅力を発信し、共に活動する仲間を集める必
要があります。

まずは、ホームページ・SNS を活用し乙訓地域に我々の存在を広く認知させることで、
我々の運動に対する関心へとつなげていきます。そして、1 年間で掛けて組織の認知度を
高めるブランディングを行い、乙訓地域からの関心を高めます。さらに、新たな手法を取
り入れた効果的な会員拡大計画を策定し、目標達成に向けた運動を推進します。また、会
員拡大は地域貢献の一環として組織で取り組むべき重要事項であることを再認識し、会員
の拡大意識向上につなげる機会を創出します。そして、乙訓地域の青年が組織の魅力に触
れる機会を創出し、会員拡大につなげます。さらに、新たな仲間が組織の本質や理念を理
解すると共に協力して行動する機会を創出し、組織のさらなる発展へとつなげます。また、
乙訓地域の未来について考えることのできる地域市民の政治参画意識を高めると共に組織
の価値を広げる機会とします。

乙訓地域に影響力のある運動を展開していくためには仲間の存在が欠かせません。ひと
りでできることには限界があり、未来を切り拓くためには仲間が必要です。支え合い、励
まし合う仲間がいるからこそ、困難に立ち向かうことができます。そして、同じ思いをも
った仲間が増えることで組織に好循環を生み出し、乙訓地域からも仲間からも求められる
組織となりましょう。

組織の基盤を支え運営を展開しよう

我々は地域社会への持続的な貢献を目指し、組織の永続的な存続のため、健全な運営が必要となります。また、質の高い運動を乙訓地域に展開するためには、精度の高い事業構築が必要であり、そのために効率的かつ効果的な会議を行わなければなりません。これまで受け継がれてきた組織体制、運営基盤と規則を守りつつ、社会の急速な変化と多様化するニーズに応え、これからも意義のある活動を展開していく必要があります。その中で、会員全員が運動に専念できる環境を整えます。また、同志の活動を有効的に活用することでさらに質の高い運動へとつなげ、組織の発展へと導きます。これにより、組織の基盤を支えつつ、地域社会に対する責任を果たし、運営を展開していく必要があります。

まずは、公益社団法人としての役職者が組織の理念や役職の責務を認識することで、役職者としての意識を高め、質の高い組織運営へとつなげる場を設けます。そして、京都ブロック協議会が行う運動の方向性を理解する機会を創出します。さらに、国際青年会議所や日本青年会議所などが開催する各種大会への理解を深める機会を創出します。また、青年会議所の活動には、出向という貴重な機会があり、そこで得られる経験や価値が組織の成長につながることを理解する機会とします。そして、1年間の活動を完遂した仲間と互いに敬意を示して成果を称えあい、次年度以降の活動意欲を高め持続的な発展ができる組織へとつなげます。さらに、コンプライアンスや適切な予算編成を行い、公益社団法人としての社会的責任を果たします。

地域社会に対する責任を果たしながら、未来につなげる運営を展開し、乙訓地域により良い影響を与えられる秩序ある組織を作り上げていきましょう。

むすびに

自信の成長、乙訓地域の発展には、常に向上心をもって行動していかなければなりません。そして、人や地域を想う我々が、自身の限界を超えた行動力を生み出すためにも、夢や理想を大きく描き、大志を抱かなければなりません。その行動の先で、挫折や困難に直

面する時があるかもしれません。しかし、強い思いがあれば、乗り越えられるはずです。

そして我々には、支え合い、励まし合い、助け合える強い仲間がいるのです。だからこそ、大志を抱き、行動を起こすことに恐れる必要はありません。

我々は未来を切り拓く責任があり、未来を明るくする力をもっています。勇敢に立ち上がり突き進みましょう。そして、逆境が訪れようとも決して諦めず立ち向かいましょう。ただ待っているだけでは何も変わりません。熱い情熱と高い志をもって運動を展開しましょう。

我々の新たな 1 年が幕を開けます。組織に価値を、地域に影響をもたらすべく大志を抱きましょう！